

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（1号機原子炉建屋大型カバーの設置等）に係る面談
2. 日時：令和4年2月17日（木）13時30分～15時15分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁 原子力規制部  
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
新井安全審査官、久川係員  
高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）  
審査グループ 地震・津波審査部門  
江崎企画調査官、三浦主任安全審査官（テレビ会議システムによる出席）  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所 担当8名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請（1号機原子炉建屋大型カバーの設置等）について、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - アンカー削孔欠損を考慮した原子炉建屋外壁部の評価について
    - ✓ 3次元 FEM 解析結果について
  - アンカー引き抜き試験について
  - 外壁調査計画におけるクライテリアの設定について
    - ✓ アンカーボルトの抜け出し量-引張荷重について
  - ひび割れ補修材料の耐放射線性について
  - 工程スケジュール
  - 外壁調査における西面の代表性について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
  - アンカー削孔欠損を考慮した原子炉建屋外壁部の評価に関して、FEM 解析結果の妥当性を検証するにあたって引用した文献について、試験条件等の詳細を示すこと。
  - アンカー引き抜き試験のひび割れ幅について、実機とのスケール誤差の対応を明確にした上で、引き抜き試験結果の設計への反映の考え方を説明すること。
  - アンカー反力検定比の算定プロセスについて詳細に説明すること。
  - アンカーのせん断及び引き抜き試験の荷重～変位関係において、コンクリートのひび割れによる剛性低下が見られることから、アンカー設置周辺のひび割れ状況に応じて各アンカー反力が一律でなくアンカーごとに分担荷重が変わることを踏まえて、各アンカー設置箇所のひび割れ状況に応じた荷重分担の違い等を評価した上で、設計及び施工時における対策を整理し説明すること。等を求めた。

6. 資料

- 1号機燃料取り出し用カバーのうち大型カバーの設置について
- アンカー削孔欠損を考慮した R/B 外壁部の評価について